

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市若林体育館
2	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
3	指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 106,048人 (前年度比 92%) 前年度 115,027人
		《事業》 6,595人 (前年度比 88%) 前年度 7,466人
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 40,185千円 (40,062千円) ・ その他市が負担した費用 1,462千円 (18,669千円) 《収入》 ・ 使用料収入 13,872千円 (12,243千円) ・ その他収入 3千円 (3千円) ()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 平成29年11月15日から平成29年12月6日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。 また、市民スポーツ活動の推進についての取り組みがなされている。	S
II	施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止や緊急時の対応に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が図られている。	S
III	施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。 また、利用者に対するごみ分別の呼びかけや職員による資源の再利用等、新・仙台市環境行動計画に基づく取り組みが積極的に行われている。	S
IV	サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、平成29年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 利用者からの要望や苦情への対応も、積極的かつ迅速に行われ、職員全体でサービス向上に努めている。	S
V	施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を行うなど、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。 利用者数については、昨年度から競技場利用者、会議室利用者が減少したものの、事業計画における利用者数の目標は達成している。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》	
<p>年間を通じて概ね良好な施設運営を行うことができました。職員による施設・設備の点検を充実し、利用者に対してもより安全・安心なスポーツ環境を提供できたと評価しております。また競技場での不定期で頻繁な雨漏りに対しても、大きな苦情・事故もなく運営できたことは、常日頃から利用者との良い関係が保たれていることの証であると確信しております。利用者数に関しては前年比92%となりましたが、目標の利用人数103,000人を超えることはできました。特に、トレーニング室の利用は前年比119%と、大きく上回ることができました。事業においては、通年コース、回数限定コース、予約なしの当日コース等様々な開催をし幼児から高齢の方々に参加いただきました。今後も、たくさんの方々が安心・快適にお使いいただけるような施設運営を行ってまいります。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の管理面については、引き続き、施設・設備の長寿命化を念頭に、不具合等の早期発見のため職員による日常点検等を充実させている。また、安全な施設利用のため、仮設救護室の設置を行うなど、緊急時の対策も行われており、施設の安全性と清潔性を保っている。</p> <p>トレーニング室に設置していた血圧計をロビーにも設置する等、利用者の利便性向上のための取り組みも実施している。</p> <p>運営面については、子ども向けのスポーツ・体力づくり教室や無料体験会等を多様に開催していることに加え、一般公開の設定の見直しを行ったり、参加者の状況やニーズを取り入れながら事業提供を行うなど、利用者の視点に立った運営がなされている。</p> <p>今後も若林区のスポーツ活動の拠点施設として、地域から生まれ、信頼される施設の管理運営と、更なる市民のスポーツ振興・普及への取り組みを期待したい。</p>	<p>S</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課